

問1 農業就業者1人あたりの耕地面積が約1.6haと、全国平均や他地域に比べて非常に小さい香川県において、農業産出額の構成比で特に高い割合を占めている品目の特徴として、最も適当なものを次の中から選びなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 広大な土地での大規模経営に適した小麦や豆類
2. 単位面積あたりの収益性が高く、集約的な栽培が行われるレタスなどの野菜
3. 広大な放牧地や飼料畑を必要とする乳用牛や肉用牛などの畜産
4. 冷涼な気候を活かして大規模な機械で一斉に収穫する工芸作物

問2 日本の都道府県別の統計において、レモンの収穫量が全国の約6割にあたる61.7% (2016年) を占め、日本一の産地となっている都道府県はどこですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)

1. 広島県
2. 愛媛県
3. 岡山県
4. 山口県

問3 ある地点の気候統計において、1月の降水量が約30mm、7月の降水量が約180mm、年間降水量が約1100mmという、周辺の地域と比較しても際立って降水量が少ない数値が記録されています。この統計に合致する地域の気候区分とその特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 愛知公立入試 類似)

1. 中国山地と四国山地の間に位置する、瀬戸内の気候
2. 冬の季節風の影響で1月の降水量(降雪量)が多くなる、日本海側の気候
3. 夏に南東の季節風や台風の影響で降水量が非常に多くなる、太平洋側の気候
4. 梅雨や台風の影響をほとんど受けず、年間を通じて気温が低い、北海道の気候

問4 山口県が属する瀬戸内工業地域において、化学工業をはじめとする重化学工業が発達した背景として、地理的条件をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重公立入試 類似)

1. 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。
2. 内陸部の険しい地形を利用した水力発電によって、安価で大量の電力を得ることが可能になり、アルミニウム工業が発達したため。
3. 広大な平野を活用した大規模な機械化農業との兼業が容易であり、農閑期の労働力を活用した繊維工業から発展したため。
4. 京阪神・中京・関東の三大都市圏のちょうど中心に位置し、高速道路網を利用した部品の組み立てや加工を行う内陸工業が発達したため。

問5 島根県松江市において、12月や1月の降水量が100mmを超え、他の季節と比較しても降水量の差が太平洋側に比べて小さくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

1. 冬に日本海を渡ってくる湿った北西の季節風が、中国山地にぶつかって雪や雨を降らせるため。
2. 夏に太平洋から吹く季節風が、四国山地を越えて湿った空気を運んでくるため。
3. 年間を通じて温暖な黒潮の影響を強く受け、台風の通り道になりやすいため。
4. 中国山地と四国山地に挟まれているため、季節風の影響を受けにくく乾燥するため。

問6 中国地方と四国地方の県庁所在地には、名称が似ているために混同しやすい都市があります。島根県の県庁所在地であり、宍道湖(しんじこ)の東岸に位置する都市と、愛媛県の県庁所在地であり、道後温泉やミカン栽培で知られる都市の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 高知公立入試 類似)

1. 松江市(島根県)と松山市(愛媛県)
2. 松山市(島根県)と松江市(愛媛県)
3. 松江市(島根県)と高松市(愛媛県)
4. 浜田市(島根県)と松山市(愛媛県)

問7 2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県(22,047)、広島県(18,155)、香川県(12,269)となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。 (2024年 大阪公立入試 類似)

1. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。
2. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダムや代わりとして整備されたため。
3. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。
4. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。

問8 四国地方に位置する4つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる県が2つあります。その県名と、それぞれの県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)

1. 愛媛県(松山市)と香川県(高松市)
2. 徳島県(徳島市)と愛媛県(松山市)
3. 香川県(高松市)と高知県(高知市)
4. 愛媛県(高松市)と香川県(松山市)

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 単位面積あたりの収益性が高く、集約的な栽培が行われるレタスなどの野菜	香川県は平野部に限られており、農業就業者1人あたりの耕地面積が全国でも最小規模です。北海道のような広大な土地を必要とする大規模な「土地利用型農業」を行うのが難しいため、限られた面積から高い収益を得る必要があります。その結果、レタスをはじめとする野菜の生産に力を入れる「集約的な農業」が発達し、農業産出額に占める野菜の割合が非常に高いという特徴を持っています。
問2	<b>答え 1</b> 広島県	瀬戸内海の温暖で降水量が少ない気候は、柑橘類の栽培に適しています。特に広島県はレモンの生産において圧倒的なシェアを誇っており、全国の半分以上の収穫量を占める日本一の産地です。問題文にある「収穫量6割以上」という数字は、広島県を特定する大きな指標となります。
問3	<b>答え 1</b> 中国山地と四国山地の間に位置する、瀬戸内の気候	日本の年間平均降水量は約1700mm程度ですが、瀬戸内地方の岡山県などは年間降水量が1000mm～1200mm程度と、国内でも特に雨が少ない地域です。資料に示された「1月の降水量が極端に少ない（冬の乾燥）」かつ「年間降水量が約1100mmと非常に低い」というデータは、二つの山地に挟まれて季節風の影響を受けにくい瀬戸内の気候の典型的な数値を示しています。
問4	<b>答え 1</b> 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。	瀬戸内海沿岸は、遠浅の海が広がっていたため埋め立てが容易であり、さらに波が穏やかで水深を確保しやすかったことから、大型船舶が接岸できる良港に恵まれていました。この立地条件を活かして、海外からの石油などの資源を輸入し、精製・加工を行う石油化学コンビナートや製鉄所が集中して建設されました。
問5	<b>答え 1</b> 冬に日本海を渡ってくる湿った北西の季節風が、中国山地にぶつかって雪や雨を降らせるため。	日本海側の気候の大きな特徴は、冬の降水量（降雪量）が多いことです。シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風が、比較的暖かい日本海（対馬海流）の上を通る際に大量の水蒸気を取り込み、山脈に突き当たることで上昇気流が発生し、降水をもたらします。これにより、冬の乾燥が著しい太平洋側とは異なる降水パターンを示します。
問6	<b>答え 1</b> 松江市（島根県）と松山市（愛媛県）	中国地方の日本海側に位置する島根県の県庁所在地は松江市です。松江市は宍道湖と中海に挟まれた水の都として知られています。一方、四国地方の瀬戸内海側に位置する愛媛県の県庁所在地は松山市です。松山市は四国地方で最も人口が多い都市であり、温暖な気候を利用した柑橘類の栽培が盛んです。この2つの都市はどちらも「松」の字から始まる県庁所在地であるため、それぞれの県名と位置を正しく結びつけておく必要があります。
問7	<b>答え 1</b> 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。	瀬戸内海に面した兵庫県、広島県、香川県などは、中国山地や四国山地に阻まれて雨が少ない「瀬戸内の気候」に属しています。特に稲作が盛んな地域では、夏場の水不足が深刻な問題となるため、古くから雨水を蓄えておく「ため池」が数多く作られ、農業用水として利用されてきました。
問8	<b>答え 1</b> 愛媛県（松山市）と香川県（高松市）	四国地方では、徳島県と高知県は県名と市名が一致していますが、愛媛県は松山市、香川県は高松市が県庁所在地となっており、県名とは異なります。特に「松山市」と「高松市」は名称が似ているため、どちらの県の都市であるかを正確に把握しておくことが重要です。